

校長通信

止まり木



令和8年(2026年)
3月3日発行
第37号

大阪市立野田中学校

弥生(やよい)3月



昨日の全校集会でのお話です。

早いもので今日から3月が始まりました3月のことを旧暦ではなんと
いうか知っていますか?日本では、旧暦3月を弥生(やよい)と呼びます。1月は睦月(むつき)、
2月は如月(きさらぎ)です。弥生は“いよいよ草木が生い茂る”という意味があります。冬の厳しい
寒さに耐え忍んだ草木が一斉に芽吹き、花を咲かせる。そんな勢いのある季節だといえます。

3年生にとっては3年間、2年生は2年間、1年生は1年間の中で思うように行かず、悔しい思いや
つらい思いをしたこともたくさんあったかもしれません。でもそのことをいつまでも引きずったり、
友達や先生、親のせいにしていても何も前に進みません。新たなステージに向かう準備期間でもある
3月に、きれいさっぱり気持ちを切り替えて、自分自身の花を咲かせてほしいと思います。
来週はいよいよ3年生は卒業式です。最後の瞬間まで頑張ってください。

ひな祭りの起源は?

3月の代表的な行事であるひな祭りの起源は、300年ごろの古代中国で起こった「上巳節」にさかの
ぼるといわれています。「上巳(じょうし/じょうみ)」とは旧暦3月の最初の巳の日のことでのち
に行事の日付が変わらないよう、3月3日となりました。もともとは女の子のための行事ではなく、
春の訪れを喜び、無病息災を願う厄払いの行事でした。それではどんなことを行っていたのでしょうか。
少し紹介したいと思います。

3月初めは季節の変わり目で、災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられていました。古代中国
では、この日に水辺で穢れ(けがれ)をはらう習慣があったことから、紙や草でつくった人形(ひと
がた)で自分の体をなでて穢れ(けがれ)を移し、川や海へ流したりするようになりました。現在の
ように、段を組んだり、豪華な飾りを施したりするようになったのは江戸時代に入ってからのこと
です。江戸初期に、京都の御所で盛大なひな祭りが催されて以降、江戸の武家社会にも広まり、庶民の
間にも定着したのだそうです。当日は彩り華やかなちらし寿司や蛤(はまぐり)のお吸いもの、白酒
や雛あられなどをいただきます。菱(ひし)の形に見立てた菱餅には、「雪の下から新芽が芽吹き、
雪の上では桃の花が咲く」という意味が込められ、緑・白・赤の3色のものが一般的ですが、2色や
5色のものもあります。

さあ!3月。**締めくくりというよりもいよいよ草木が生い茂る勢いのまま、新しい年度に向けてス
タートをしていきましょう。**